

課名	人権・男女共同参画課
担当	桑原・出宮
内線	2911、2913
直通	086-226-0553

# お知らせ

## 男女共同参画社会に関する県民意識調査の結果がまとまりました

第6次おかやまウィズプラン策定の参考とするとともに、効果的な施策推進を図ることを目的として、男女共同参画社会に関する県民の意識と実情を調査し、結果を取りまとめましたので次のとおりお知らせします。

なお、調査結果の詳細については、岡山県人権・男女共同参画課のホームページ (<https://www.pref.okayama.jp/page/962672.html>) を御確認ください。

### 記

#### 1 調査の概要

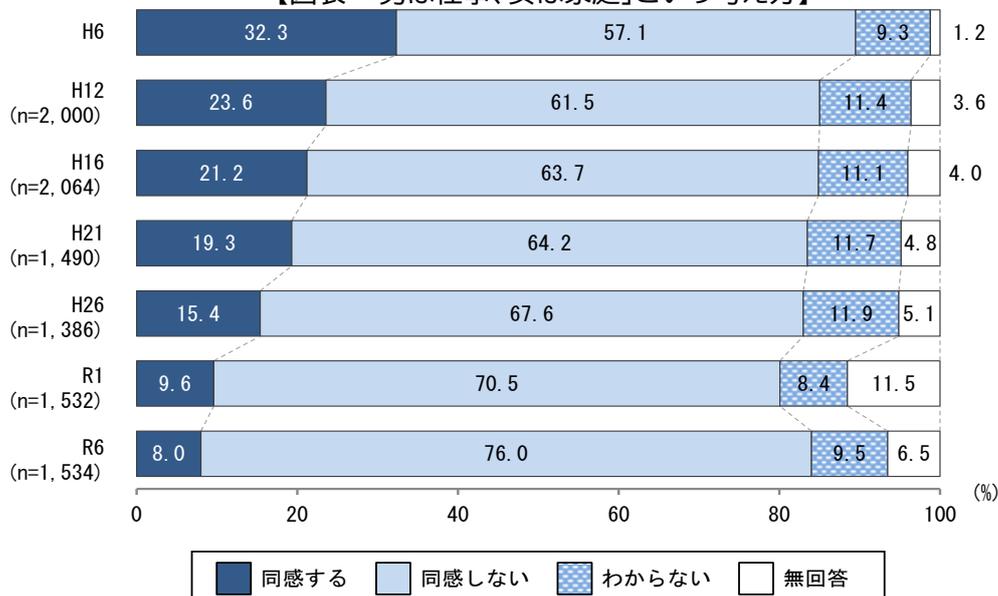
- (1) 調査対象 18歳以上の男女3,000人（県内全市町村から無作為抽出）
- (2) 調査方法 郵送配付、郵送回収及びWEB回収
- (3) 調査時期 令和6年10月9日～令和6年10月31日
- (4) 調査内容
  - ・男女の役割分担意識や家庭観について
  - ・男女の社会参画について
  - ・ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について
  - ・人権について
  - ・防災について
  - ・男女共同参画の推進について など計44問
- (5) 回収結果 有効回収数（率）：1,534件（51.1%）  
うち女性888件（57.9%） 男性623件（40.6%）

#### 2 主な調査結果

##### 1 男女の役割分担意識や家庭観について

##### (1) 「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識

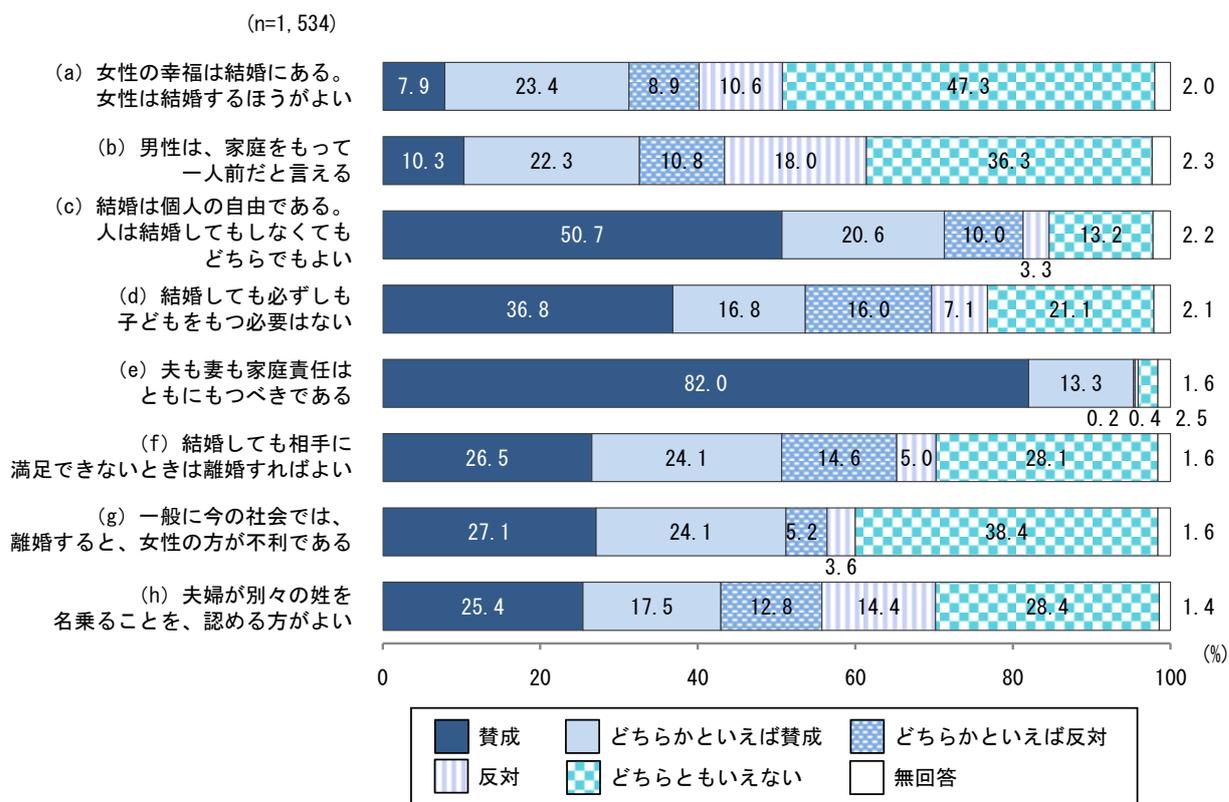
【図表「男は仕事、女は家庭」という考え方】



・「男は仕事、女は家庭」という考え方に「同意しない」が7割台半ばとなっている。

## (2) 結婚・離婚・夫婦別姓等についての考え方

【図表 結婚・離婚・夫婦別姓等についての考え方】

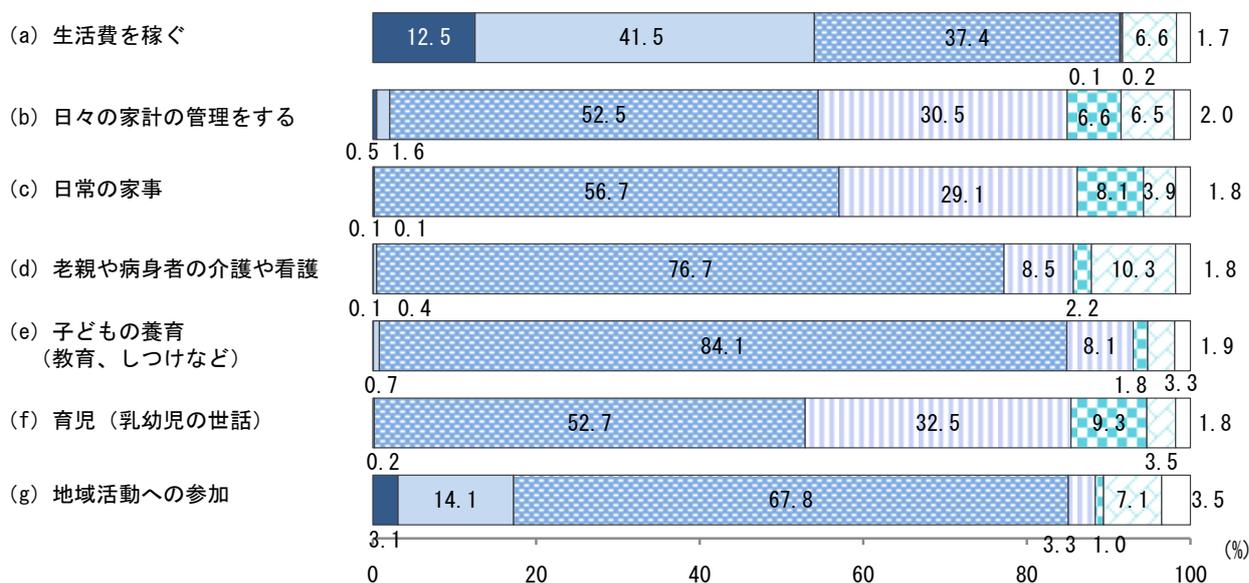


- ・「夫も妻も家庭責任はともにもつべきである」は『賛成』（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）が9割台半ばとなっている。
- ・「男性は、家庭をもって一人前だと言える」、「夫婦が別々の姓を名乗ることを、認める方がよい」は『賛成』、『反対』、「どちらともいえない」に意見が分かれている。

### (3) 家庭での役割についての考え方

【図表 家庭での役割についての考え方】

(n=1,534)

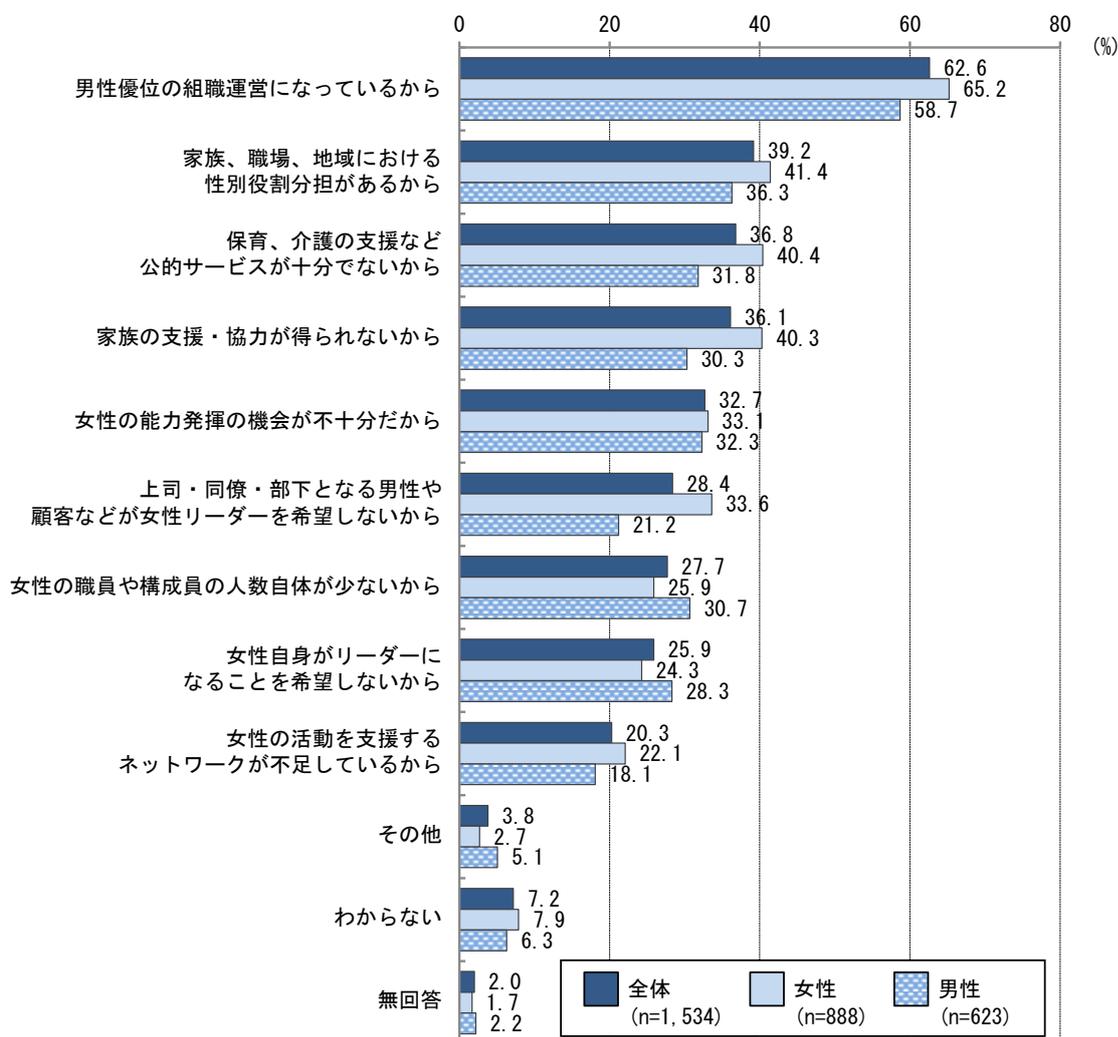


- ・「生活費を稼ぐ」は『夫の役割』（「主として夫の役割」＋「どちらかといえば夫の役割」）が5割台半ばとなっている。
- ・「日々の家計の管理をする」、「日常の家事」、「育児（乳幼児の世話）」は『妻の役割』が4割程度となっている。

## 2 男女の社会参画について

### (1) 政策・方針の決定にかかわる役職に女性があまり進出していない理由

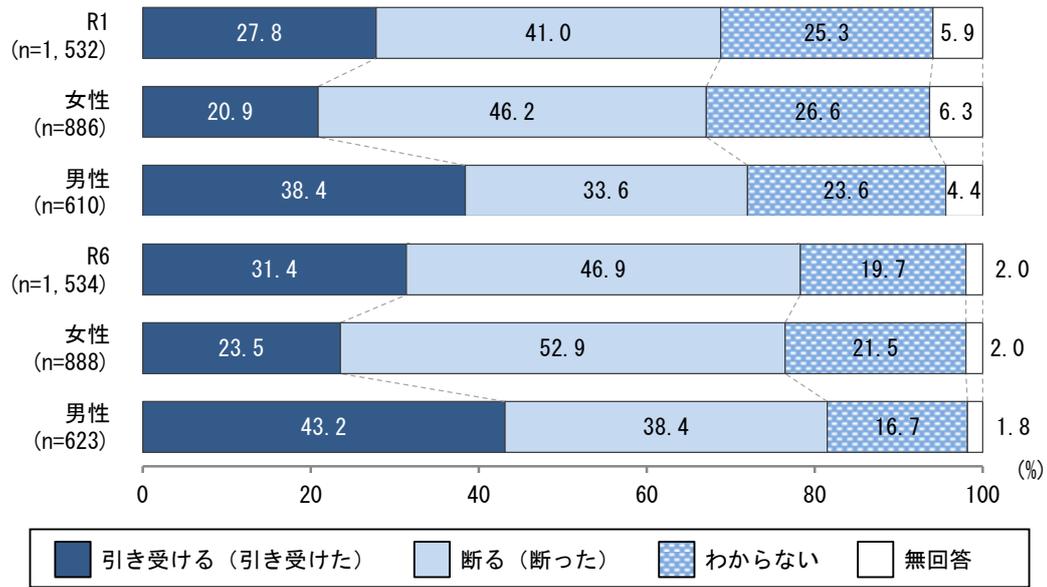
【図表 政策・方針の決定にかかわる役職に女性があまり進出していない理由(性別)】



- ・「男性優位の組織運営になっているから」が約6割と最も高く、次いで「家族、職場、地域における性別役割分担意識があるから」、「保育、介護の支援など公的サービスが十分でないから」となっている。

## (2) 役職への就任や公職への立候補の依頼に対する考え方

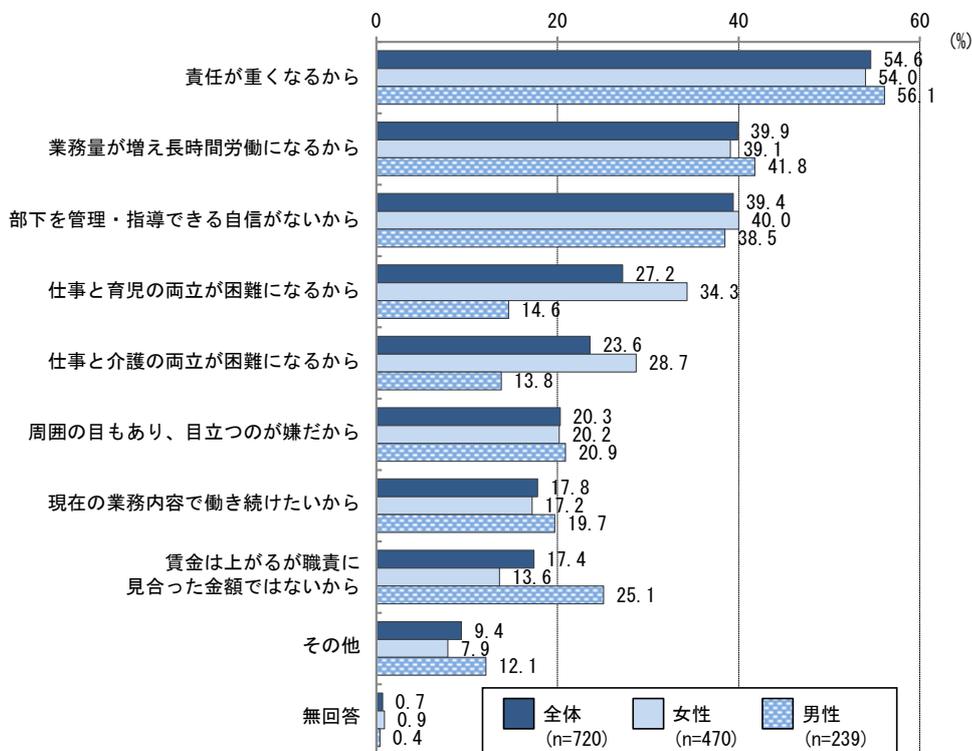
【図表 役職への就任や公職への立候補の依頼に対する考え方（職場の管理職や役員）】



- ・「引き受ける (引き受けた)」が約3割で、女性が23.5%、男性が43.2%となっている。

## (3) 職場の管理職や役員への就任を断る (断った) 理由

【図表 職場の管理職や役員への就任を断る(断った)理由(性別)】



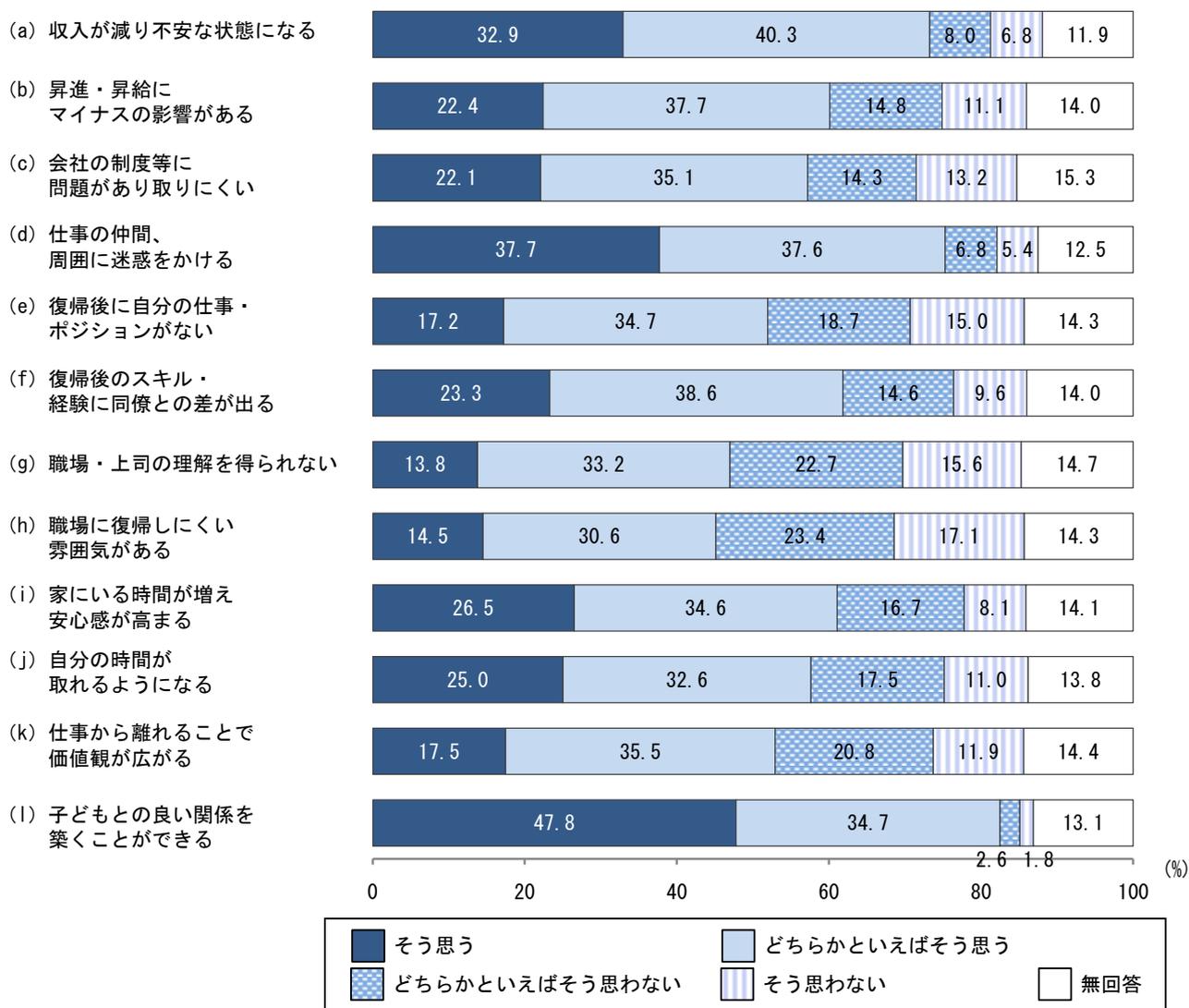
- ・「責任が重くなるから」が5割台半ばと最も高く、次いで「業務量が増え長時間労働になるから」、「部下を管理・指導できる自信がないから」となっている。
- ・「仕事と育児の両立が困難になるから」、「仕事と介護の両立が困難になるから」は女性が男性を上回っている。

### 3 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

#### （1）育児休業取得への考え方・影響（新規）

【図表 育児休業取得への考え方・影響】

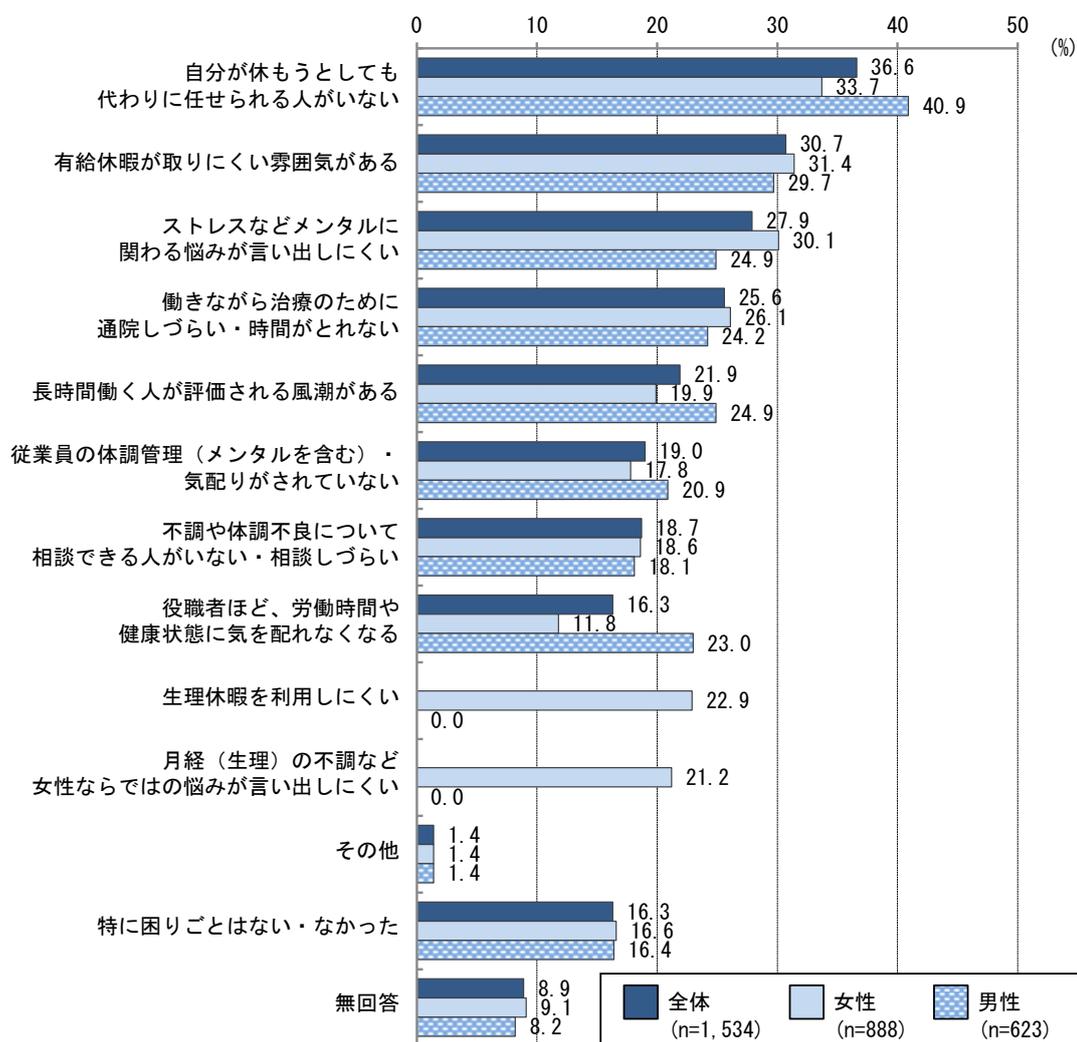
(n=1,534)



- ・「子どもとの良い関係を築くことができる」は『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が約8割と最も高くなっている。
- ・また、「収入が減り不安な状態になる」、「仕事の仲間、周囲に迷惑をかける」も『そう思う』が約7割と高くなっている。

## (2) 働く上で健康課題に関して困ったこと (新規)

【図表 働く上で健康課題に関して困ったこと(性別)】

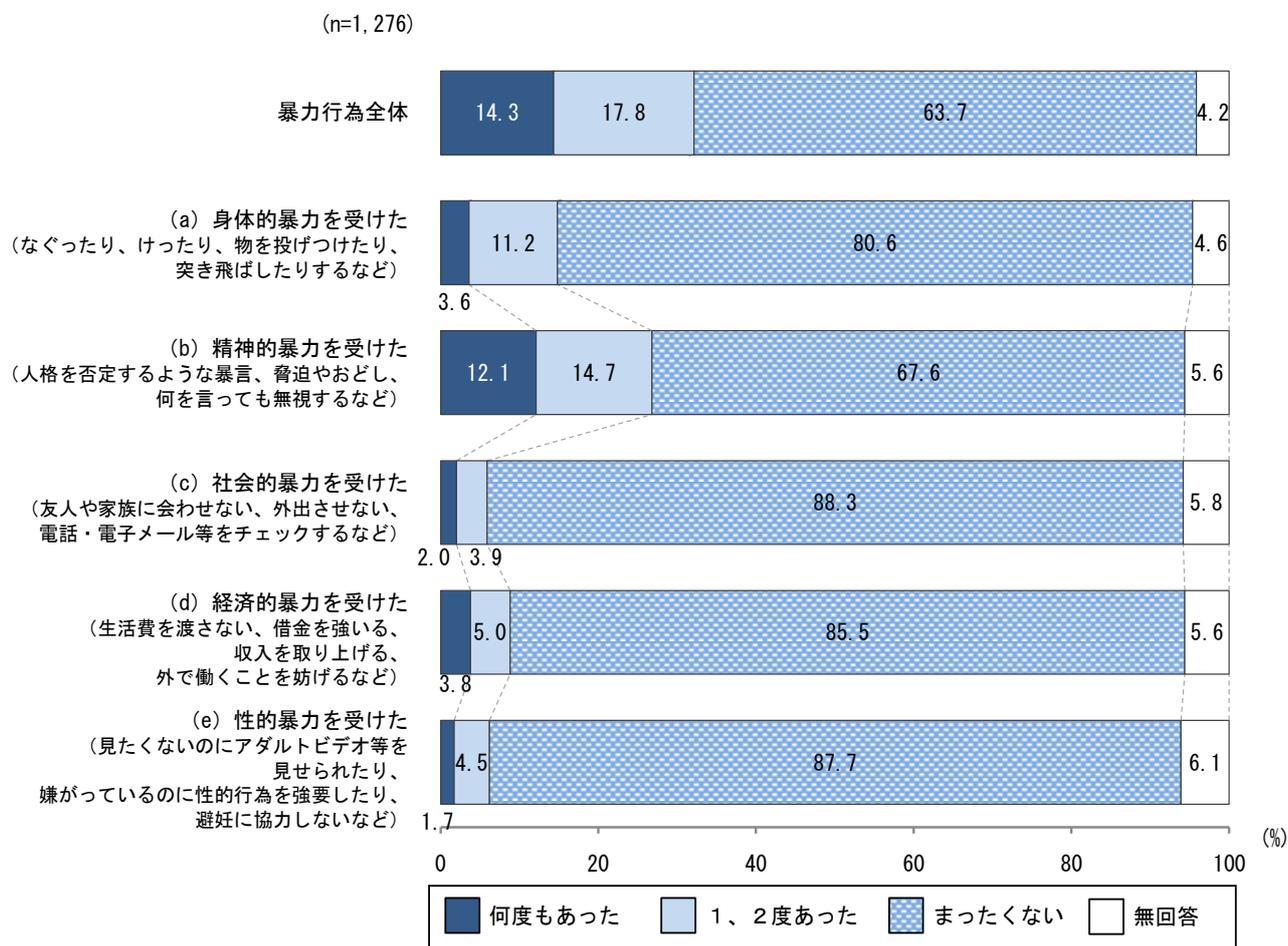


- ・「自分が休もうとしても代わりに任せられる人がいない」が3割台半ばと最も高く、次いで、「有給休暇が取りにくい雰囲気がある」、「ストレスなどメンタルに関わる悩みが言い出しにくい」の順になっている。

## 4 人権について

### (1) 配偶者から受けたことのある暴力

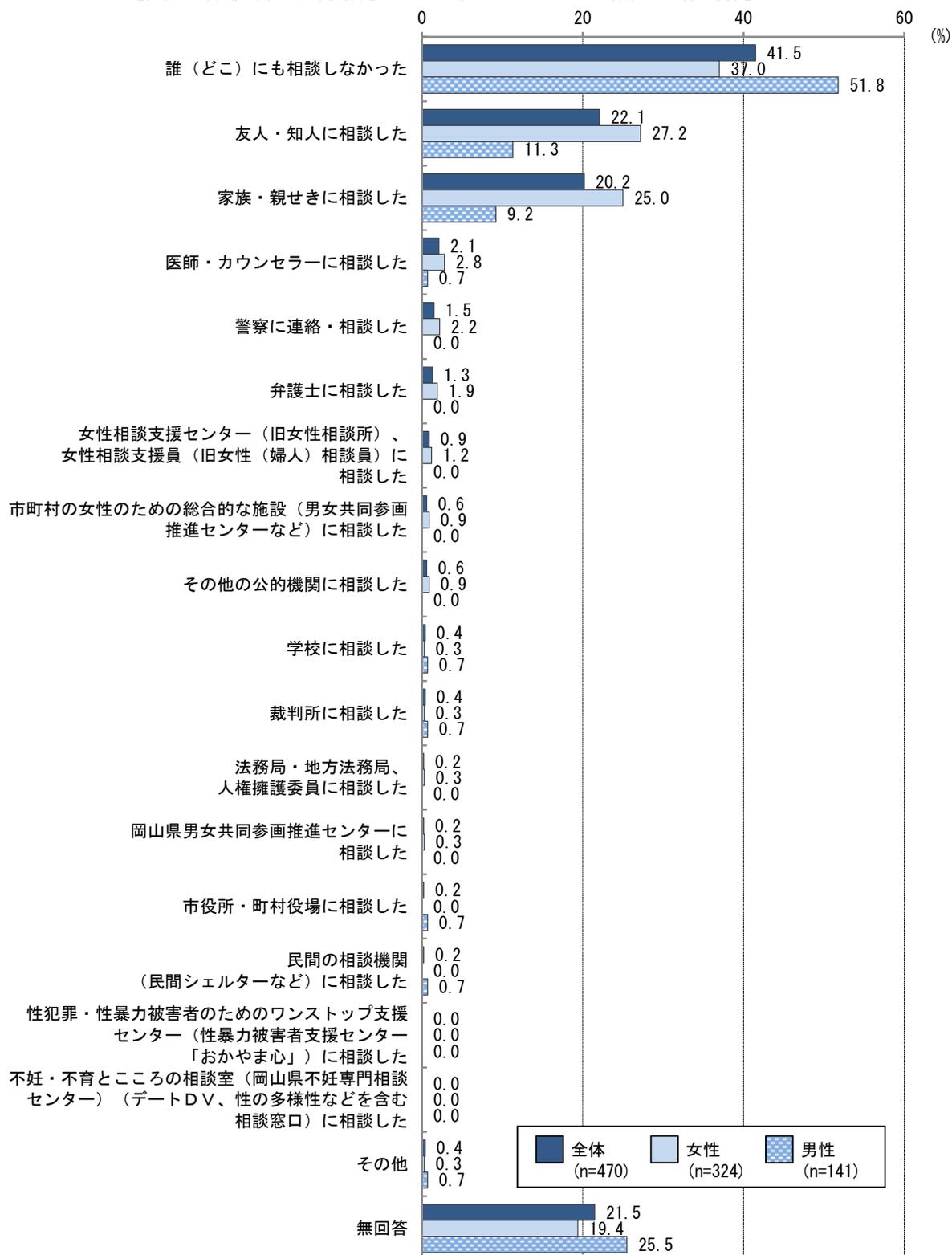
【図表 配偶者から受けたことのある暴力】



- ・ 3割超の回答者が配偶者から暴力を受けた経験が『あり』（「何度もあった」＋「1、2度あった」）、精神的暴力が2割台半ばと最も高くなっている。

## (2) 配偶者や交際相手からの暴力についての相談先

【図表 配偶者や交際相手からの暴力についての相談先(性別)】

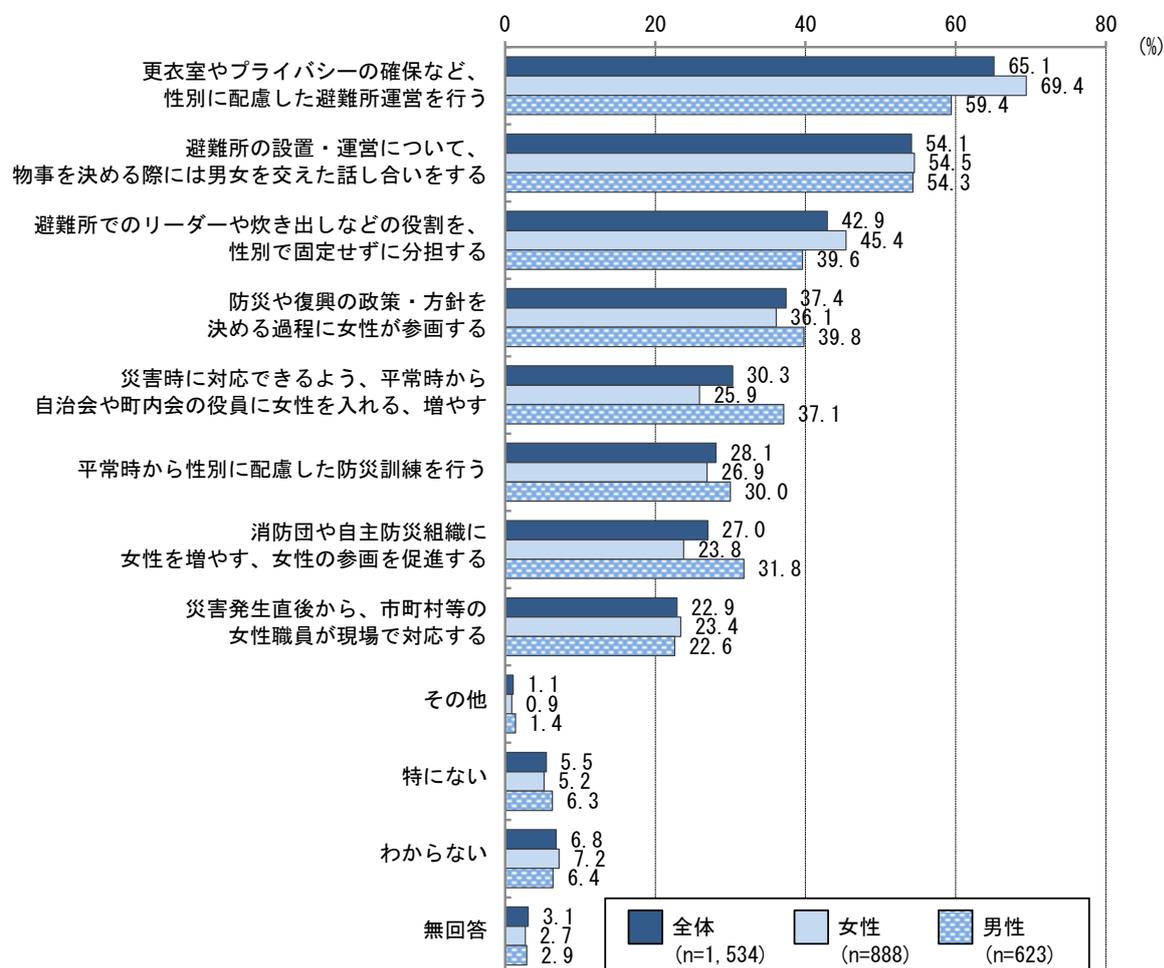


- ・暴力を受けたことを「誰(どこ)にも相談しなかった」が約4割で最も高く、次いで、「友人・知人に相談した」、「家族・親せきに相談した」、「医師・カウンセラーに相談した」となっている。

## 5 防災について

### 性別の違いに気を配った防災・災害対策に必要なこと

【図表 性別の違いに気を配った防災・災害対策に必要なこと(性別)】

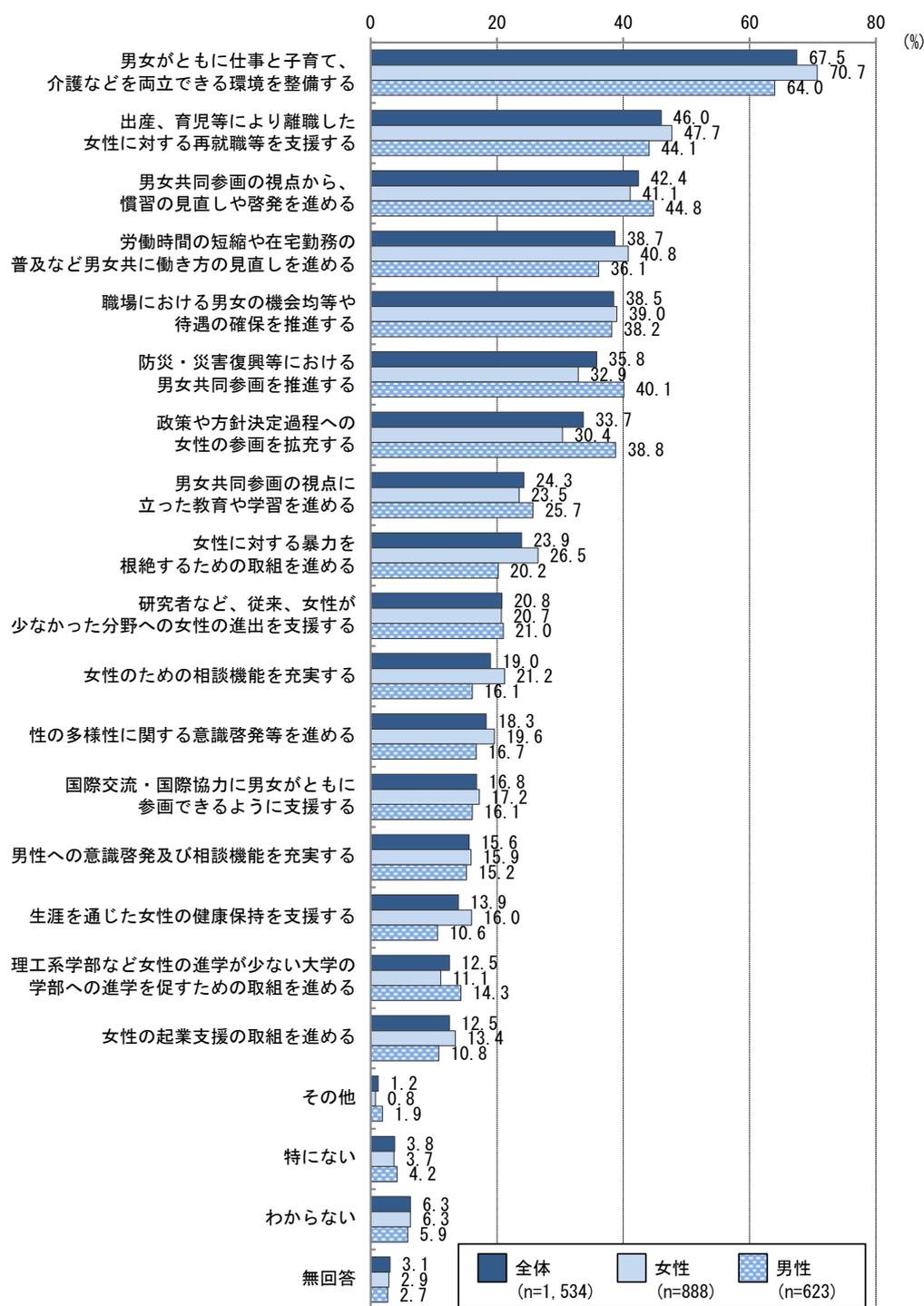


- ・「更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う」が6割台半ばと最も高く、次いで、「避難所の設置・運営について、物事を決める際には男女を交えた話し合いをする」、「避難所でのリーダーや炊き出しなどの役割を、性別で固定せずに分担する」となっている。
- ・「更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う」は女性が男性を上回っており、「災害時に対応できるよう、平常時から自治会や町内会の役員に女性を入れる、増やす」は男性が女性を上回っている。

## 6 男女共同参画の推進について

### 男女共同参画社会の実現のために県や市町村が力を入れていくべきこと

【図表 男女共同参画社会の実現のために県や市町村が力を入れていくべきこと(性別)】



- ・「男女がともに仕事と子育て、介護などを両立できる環境を整備する」が6割台半ばと最も高く、次いで「出産、育児等により離職した女性に対する再就職等を支援する」、「男女共同参画の視点から、慣習の見直しや啓発を進める」となっている。